
泣き方（詩）

Blackfruits

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

泣き方（詩）

【Nコード】

N2668L

【作者名】

Blackfruits

【あらすじ】

創作詩です。

泣き方について考えてみたことを詩で表現してみたいと思って載せました。

泣いた

大きな声を上げて泣いた

でも それに気づいたのは 泣き終えた後だった

一瞬はがむしゃらで 自分の状態なんて少しも把握できない
泣いた だからそう 泣いたといえる

何に？

その時はいろいろ

本当に何もかも 泣き濡らしていたから

いつしか泣くのに必死になって

理由さえ遠くなる

言葉にできるものならば きっと こんなには泣かない

声をあげた

そうするのが普通な気がした

子供のときから泣き方は テレビの模範を真似したのかも

大人になっただら泣き方も ドラマどおりになってしまう

それでも本当につらいとき

何も考えられないんだよ

泣いてもいい？

君の前で泣いてみたい

泣けるくらいに素直になりたい

どんなに近くにいたとしても

そこまで心は許せないんだ

泣きそうになる前に 君の前から遠ざかる

一人ぼっちの泣き方は

君のせいでもあるんだよ

(後書き)

つらすぎて泣いてると理由が吹っ飛ぶことってないですか？

だんだん意識もしてないのに、泣きじゃくったり、妙に頭の中だけ冷静になってきたり……そんな感じを主張してみました。

読んでくださった方々に感謝をこめて。
では

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2668/>

泣き方（詩）

2010年10月13日10時55分発行